

# 磯崎新の謎展

9月27日[金] ▶ 11月24日[日]



時間：午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

場所：企画展示室

観覧料：一般…1,000円(団体800円)

高校生・大学生…700円(団体500円)〈団体は20人以上〉  
中学生以下と身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の提示者(介護者を含む)…無料  
※コレクション展も観覧可。また、大分市美術館年間パスポート利用可。



©高知県, 石元泰博フォトセンター



福岡相互銀行 大分支店(左)  
Fukuoka Mutual Bank, Oita Branch  
サモン・ピンクの色彩に覆われた、サイケデリックな「梱包された環境=エンバイラメント」

大分県立大分図書館(アートプラザ)(右)  
Oita Prefectural Library (Art Plaza)  
「プロセス・プランニング」の「切断」によって生じた空間へと浸透する「彩色された光の分布」

## いき篇 息

東西文化を融合させ独自の空間をつくりあげた過程を、建築模型に加えて日本未公開のインスタレーションにより示し、その思想に迫ります。

## SHIMA 島 (しま)篇

活動当初から現在に至るまでの都市計画を紹介し、各計画に共通する理論を追究しています。

空中都市-渋谷計画  
City in the Air Shibuya Project

大分に帰省する途中にしばしば立ち寄った東大寺南大門。この断面を10倍にしたら未来都市があらわれた



「空中都市-渋谷計画」2011年CG映像  
制作：芝浦工業大学八東はじめ研究室・菊池誠研究室、デジタルハリウッド大学院メタボリズム展示プロジェクト、森美術館

大分市美術館 第3期コレクション展

## 磯崎新とネオ・ダダ 2020年1月13日(月)まで 常設展示室3

磯崎新とネオ・ダダの主要メンバーである吉村益信はキムラヤで出会い、親交を深めました。このキムラヤには赤瀬川原平や風倉匠も集まっていた。

1957年、吉村は磯崎が即興でスケッチしたプランを基に、新宿にアトリエ兼自宅(ホワイトハウス)を新築しました。このホワイトハウスは1960年に吉村、赤瀬川、風倉らがネオ・ダダを立ち上げるとその活動拠点となり、展覧会や過激なイベントが行われました。

本展では、磯崎と関わりの深い大分市ゆかりの吉村、赤瀬川、風倉などの作品を紹介しています。



吉村益信《殺打駄氏の塔(幽閉されたハレム)》1961

休館日は展覧会案内をご覧ください。市ホームページをご覧ください。

大分市美術館 ☎554-5800

## 大分が誇る建築家 磯崎新

謎を解明しようとするほど、謎が深まるのが磯崎さんという人。今はテレビでもクイズ番組が多く、正解をすぐに知りたがってしまします。どんなに難しい問題でも易しく解説してもらい、正解を知って安心するというのが磯崎さんには「これが正解」という設問はありません。そこがミステリアスであり

やはり、謎は謎のままそれが「磯崎新」の魅力

海外での美術館のコンペで、採用されながらも政治的理由でアンビルトとなったシウトウツガルト現代美術館があります。この作品を作る過程で美術館の3つの世代という着想が生まれ、のちの奈義町現代美術館(岡山県)で実現されます。建築家としての初期の頃は、特に都市計画家としての顔を持っていました。街の上空に巨大な円柱で建物を持ち上げる「空中都市」、1970年代には「コンピュータ・エイディッド・シティ」、1990年代には中国で「海市」という都市計画などを構想・発表。いずれも実現はしていませんが、今回、大分市美術館で開催する「磯崎新の謎」展でも、アンビルトの都市計画は重要な要素として展示を構成します。

深みでもあり、なかなか理解し難いところでもあります。「モダンズム」を丹下健三の下で学び、前衛の時代を生き、その頂点ともいえる1970年の大阪万博を丹下とともに経験した磯崎さんは、それ以後、前衛の終焉と向き合っていくことになりました。1970年代には立方体や半円形ポルトなどにより前衛の総括をし、1980年代に入るとポストモダンによって時代の寵児(ちゆうし)となって一躍世界に名を馳せました。それは単なる建築の様式や意匠、手法を変えたというだけでなく、時代や地域性を越えた芸術の在り方、その思想そのものの変質に立ち会った建築家の姿を見ることが出来ます。その後も幾多の挑戦によって時代を駆け抜けてきた磯崎さんを、簡単に理解するのは難しいでしょう。難解で「一つの枠で語ることができない」のが「磯崎新」ということを前提にすれば、謎そのものが魅力と見えるのではないのでしょうか。

特に今回の「磯崎新の謎」展は、こうした磯崎さんの活動の中でも、さまざまな芸術や文化現象の創造的実践といえる実験的作品に光を当てます。安易に答えを見つけないのではなく、正解のない迷宮を楽しんでもらうのが、磯崎さんの世界と触れ合う方法かもしれません。

アートプラザ常設展

## 「磯崎新 Public Architecture」

会期：2021年3月末まで(最長) 午前9時～午後10時

※3階磯崎新建築展示室は午後6時まで

休館日：年末年始(12月28日～1月3日)

観覧無料

1960年代から現在にいたるまで、数々の公共建築を手掛けた磯崎新。本展では、その中から美術館、ホール、スポーツ施設、図書館の建築を紹介しています。今回の特集で掲載した建築模型の展示も行っています。



アートプラザ ☎538-5000